

創日本環境協会はチームマイナス6%に参加しています。
みんなで止めよう温暖化
 チーム・マイナス6%



Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人日本環境協会

ニュースレター No.36 2005年12月1日発行



ストップおんだん館

ストップおんだん館は、2004年7月にオープンした、
 子どもから大人まで地球温暖化について楽しみながら学べる施設です。
 10月20日には、来館者数が2万人を超えました。(関連記事 7ページ)

JEA NEWS No.36 目次

エコマーク情報	2・3	藤本倫子環境保全活動助成基金	6
世界のエコラベリングネットワーク(GEN)	3	グリーン購入ネットワーク(GPN)	6
こどもエコクラブ	4	地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)	6
環境カウンセラー	5	全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)	7
環境研究会	5	我が家の環境大臣	8
スターウォッチングネットワーク	6	土壌環境保全対策事業	8
環境白書表紙絵コンクール	6	JEA NEWSメールマガジン創刊について	8

各事業のホームページは、協会トップページ (<http://www.jeas.or.jp>) から入ることができます。



エコマーク

第3回エコマーク商品の消費者モニタリング調査および認知度・信頼性調査結果

今年で第3回目になった消費者モニタリング調査および認知度・信頼性調査の結果をとりまとめました。

この調査は、平成16年12月から平成17年2月にかけて、(社) 全国消費生活相談員協会の協力を得て、同会員600名(有効回答数557名)を対象に「エコマーク商品へのモニタリング調査」を、また、一般消費者1,800名(有効回答数1,684名)を対象に「エコマークの認知度・信頼性調査」を実施したものです。

今回は、例年通りの内容に加え、新たに質問項目となった企業の社会的責任(CSR)に関する調査を実施した結果、各方面の反響を呼び、日経新聞社会面や業界誌等のメディアで、その一部が紹介されました。

結果報告のURL

→ <http://www.ecomark.jp/pdf/ninchi05.pdf>

以下に「エコマークの認知度・信頼性調査」の結果を一部御紹介致します。

エコマークの認知度・信頼性調査(有効回答数=1,684)

①あなたはエコマークを知っていますか?

回答内容	回答率(今回)	回答率(前回)
内容まで詳しく知っている	5.3%	4.6%
ある程度知っている	51.1%	50.7%
名前を聞いたことがある	27.5%	27.1%
マークを見たことがある	13.2%	15.2%
全く知らない	2.9%	2.2%

●エコマークをある程度知っている人の51.1%を筆頭に、エコマークの存在を日常生活の中で何らかの形である程度認識している人は、全体の97.1%という結果になっています。

②家庭内におけるエコマーク付き商品の保有シェア

調査項目	エコマークの家庭内占有率		
	50%以上	50%未満	0%
トイレットペーパー	44.3%	21.5%	34.2%
水切りネット	21.5%	28.0%	50.5%
掃除機用紙パック	26.6%	21.3%	52.1%
ボールペン	19.1%	39.1%	41.8%
詰替え使用品のための容器	15.8%	31.8%	52.4%

●トイレットペーパーの44.3%を最高に、高い占有率を示す商品がある一方で、エコマーク商品の浸透が進んでいない商品もあることが判明しました。

③今後企業がより一層、社会的責任(CSR)を果たしていくために必要だと考える事項

回答内容	回答率
消費者が積極的に「企業の社会的責任」の要素を反映した購買行動をすべきだ	43.6%
法律や取り締まりを厳しくすべきだ	19.5%
企業が自発的に管理を強化したり、取り組みを進めるべきだ	14.2%
NPO、NGOなどの市民団体が企業を監視し、問題があれば公表すべきだ	12.1%
国際的な規格を整備し、それを準拠する企業を明確にすべきだ	8.8%
無回答	1.8%

●企業による社会的責任の取り方次第で消費者の購買行動に大きな影響が出ることを示す、大変厳しい結果となりました。

◆エコマークは、小売チェーン店と共同で買い物キャンペーンしています◆

5月から6月にかけて、コープネット生協との共同で「環境に配慮した買い物キャンペーン」を行い、3,280通もの御応募を頂きました。また、キャンペーン対象月間におけるエコマーク商品の売り上げ数量が、キャンペーン前の月と比べ9%増となりました。この結果は、コープネット生協で買い物をされる方々の環境配慮型商品に対する関心の高さを示すと共に、買い物キャンペーンの宣伝効果を示す結果となりました。コープネット生協とのほかに、10月1日～11月30日の期間でイトーヨーカドーと、また11月1日～30日の期間でマルエツと、それぞれ共同で「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しています。

コープネット生協買い物キャンペーンの結果

URL : (<http://www.ecomark.jp/pdf/05-010.pdf>)



※エコマークと共同で買い物キャンペーンを実施する、イトーヨーカドー(左)とマルエツ(右)のリーフレット

京都環境フェスティバル出展&取得相談会のご案内

12月10・11日の2日間、「京都環境フェスティバル2005」が行われます。

エコマーク事務局からもブースを出展します。エコマーク商品の展示や、景品も当たるエコマーク関連の催し物、エコマーク関連パンフレットの配布などを行います。

また同時に、エコマーク認定取得相談会を併設いたしますので、エコマークの認定取得にご関心のある方は、お気軽にお申し込み下さい。

(予約が空いている時間帯なら、当日お越しになった方のご相談も承ります。)

● 出展日時：平成17年12月10日（土）・11日（日）

● 場 所：京都府総合見本市会館（パルスプラザ）

● URL：

(<http://www.pref.kyoto.jp/kankyo/fes/index.html>)

● 取得相談会申し込み方法: 下記①～④を明記の上、FAXにてお申し込み下さい。

①企業名・団体名 ②ご担当者名 ③ご連絡先電話番号・FAX番号 ④ご相談内容（商品内容等の具体的な内容があれば事前にお知らせ下さい）

申し込み先：(財)日本環境協会 エコマーク事務局
認証課 TEL：03-5114-1253、FAX：03-5114-1257

◆エコマークシンポジウム報告書が 出来上がりました◆

6月に東京と大阪でエコマークシンポジウムが行われ、世界で最初に環境ラベルの運営を始めたドイツのブルーエンジェルのボルフガン・ローラー氏が講演を行いました。大阪では、環境省総合環境政策局環境経済課の鎌形課長の講演もありました。

また、両会場での第2部として、持続可能な社会へ向けてエコマークが果たすべき役割についてのディスカッションがありました。

講演やディスカッションの内容については、下記URLから内容を御覧頂けます。

前編 (<http://www.ecomark.jp/pdf/sympo05-01.pdf>)

後編 (<http://www.ecomark.jp/pdf/sympo05-02.pdf>)

◆インドネシアのエコラベル制度 運営に協力しています。◆

エコマーク事務局は、インドネシア政府の協力要請と国際協力機構（JICA）の資金提供を受け、インドネシアで発足した環境ラベルの運営に関する協力をしています。既に9月から相互の人材を派遣して研修等を行っており、この交流を通じて、エコマークの経験を生かした環境ラベル制度の構築を後押ししています。

世界のエコラベル

～GEN会員機関紹介～No.8

グリーンラベル

グリーンラベルプログラムは、資源の保全や公害の軽減、廃棄物管理を促進するために、「タイの持続可能な発展ビジネス協議会」のプロジェクトとして導入された制度で、国家的な課題である廃棄物削減、省エネ、水質源の保全が特に重視されています。

商品類型は、地方政府の検査及びモニタリングの能力を考慮して選定されており、食品、飲料、医薬品は除いています。

原材料の採取又は天然資源の産出から、最終処分に至るプロセスにおける環境負荷を考慮して基準を策定しており、タイ環境研究所（TEI）による審査ののち、さらにタイ工業基準研究所で審査されます。

エコマークとは、「商品認定審査に関する相互認証」の合意契約をしています。

設立年：1993年

運営主体：タイ環境研究所（TEI）

性格：政府関連機関

商品類型数：39

認定商品数：162

(2005年3月現在)

URL：

(<http://www.tei.or.th/greenlabel/>)





こどもエコクラブ

こどもエコクラブ参加募集中
目指せ、アースレンジャー！

こどもエコクラブは、次代を担う子どもたちが人と環境との関わりについての体験を積み重ねながら、環境を大切にすることを育んでいくことを目的として、環境省が自治体との連携のもとに推進しています。平成16年度は全国で約4,200クラブ、83,000人の子どもたちがこどもエコクラブとして、身近な地域の中で自然観察や水質調査、リサイクル活動や町のエコチェックなど、様々な活動を繰り広げました。

(活動の様子はこどもエコクラブHPから

→ <http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/>)

つながれ! 広がれ!

こどもエコクラブ全国フェスティバル
in かめやま まもなく開催

2006年3月25日(土)、26日(日)に三重県 亀山市でこどもエコクラブ全国フェスティバルが開催されます。全国のこどもエコクラブのメンバーたちが一堂に会して交流を深めるとともに、こどもエコクラブ事業をはじめとする環境保全活動の定着拡大を図る、年に一度のフェスティバルです。2日目は一般参加プログラムが設定され、全国からのこどもエコクラブが一年の活動をまとめた壁新聞を展示するほか、多数の企業・団体ブースが出展され、環境に関するいろいろな学習や体験ができます。是非ご参加下さい。

日程：2006年3月25日(土)、26日(日)

会場：三重県亀山市 西野運動公園ほか

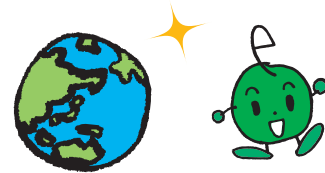
こどもエコクラブパートナーシッププログラム
子どもたちの環境活動をご支援ください

こどもエコクラブ事業では、行政・市民・企業の協働を重視する中で、各地の企業・団体から教材やプログラムの提供などの支援協力をいただいています。これらを「こどもエコクラブパートナーシッププログラム」といい、年間を通して広く募集・受付しています。今年度上半期はすでに50のプログラムが登録されました(詳しくはこどもエコクラブHPから

→ <http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/psp/index.html>)。

企業の社会的責任を推進しようとお考えのみなさんにぜひご検討いただき、全国各地のこどもエコクラブ活動を支援していただきますようお願いいたします。

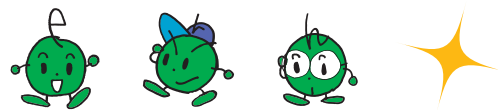
子どもたちの活動はどんなことでもOK。小・中学生2人以上でグループをつくり、活動を応援する1人以上の大人を決めれば、誰でも参加できます。登録料・年会費は無料。登録はお住まいの市区町村環境担当が窓口になります。年間を通して活動すると、年度末には「アースレンジャー」の称号と認定証が送られます。



主催：環境省、三重県、亀山市、(財)日本環境協会
協賛：トヨタ自動車(株)、松下電器産業(株)、
三井物産(株)、日本テトラパック(株)、ほか



昨年度の全国フェスティバルの様子



新たなご提案やお問い合わせはこどもエコクラブ全国事務局までお願いします。



エクソンモービル提供冊子
「環境プロジェクトの秘密を探れ」



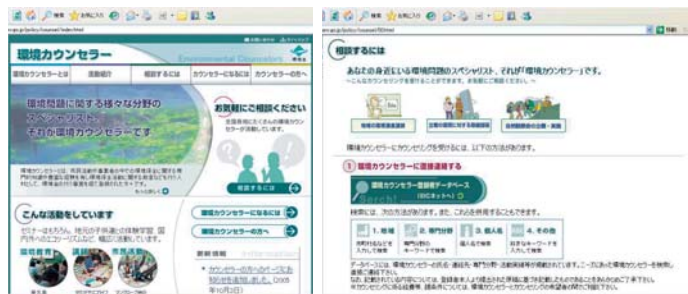
こどもエコクラブ全国事務局
お問い合わせ先
TEL 03-5114-1251

環境カウンセラー

●ホームページリニューアルのお知らせ

環境カウンセラーのホームページがリニューアルされました！ 環境カウンセラー登録者検索、制度概要、活動の紹介などの情報が掲載されています。大変利用しやすくなりました。ぜひご利用ください。

<http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>



環境カウンセラー活動紹介 No.10 堀 誠さん(栃木県)

栃木県シルバー大学校（矢板校・宇都宮校・栃木校）は、高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を築くため、積極的に地域活動を実践する高齢者の方々を養成しています。今回、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会から講師派遣の要請を受け、「環境問題を考える」をテーマに地球環境問題（特に温暖化問題）や自然環境について約2時間、各校で計4回講義をさせていただきました。



各校とも学生の方の真剣なまなざしに講師冥利につきた活動でした。

環境カウンセラー活動紹介 No.11 NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会

環境カウンセラー千葉県協議会（ECちば）では、市民団体と一緒に「親とこどもの環境学習会（みんなで進めよう地球温暖化対策）」を催しました。学童41名、大人37名、ECちば12名の総数90名が参加しました。

テーマは①地球温暖化について学ぼう、②電気の節約を進めよう、③ごみを減らすことに取組もうでした。子どもたちは講義に熱心に聞き入り、実験でもより楽し

そうに講師と一緒に取り組んでいました。写真は石灰水に息を吹き込むと、二酸化炭素で白くにごる実験の様子です。



環境研究会講演会報告

環境研究会「特別講演会」を開催



10月20日、当協会会議室において、環境研究会「特別講演会」を実施しました。今回の講演会は、「アスベスト問題の経緯と今後の対応について」（第1講演）および、「環境

パートナーシップの最新動向～重要性を増すNPOと企業の共同はいかに進めるべきか～」（第2講演）の2つのテーマで実施しました。

第1講演では、環境省水・大気環境局大気環境課の松井課長を講師にお迎えし、アスベスト問題の背景や推移と、大気汚染防止などの取組み、政府の当面の対応などについて、豊富な資料・データを基に講演いただきました。質疑応答の時間では、活発な質疑応答が交わされ、アスベストの問題に対する、参加者の関心の高さがうかがわれました。

第2講演では、地球環境パートナーシッププラザの川村研治課長に講演をいただきました。最近注目を集めている企業とNPOの環境パートナーシップの事例を紹介し、環境パートナーシップが持つ可能性、問題点を浮かび上げさせ、営利・非営利セクターの組織特性に注目し、それぞれのパートナーシップへのアプローチを整理してお話いただきました。



また、講演会終了後は、同じ建物の1階に昨年7月にオープンした「ストップおんだん館」の見学会を実施しました。施設の概要や展示の説明の後、インタープリターの案内により、「体験し、自分で考えて学ぶ」同館のプログラムを、ご参加の方々に実体験していただきました。

平成17年度冬期全国星空継続観察の実施について

星空観察を通し、大気の状態や光害問題について関心を持ってもらう「全国星空継続観察」を、2006年1月18日（水）～1月31日（火）に実施します。

参加方法等については、都道府県・政令指定都市・中核市の大気環境担当部局までお問い合わせ下さい。全国星空継続観察の詳細については、ホームページをご覧ください。

スターウォッチング・ネットワークホームページ <http://www.env.go.jp/kids/star.html>



平成18年版 環境白書表紙絵コンクール作品募集

あなたの絵が平成18年版の環境白書の表紙や環境月間のポスターになります。「環境にやさしい社会」を描いた絵を送ってください。あなたが望む未来の地球は、どんな姿ですか？明るく・楽しい独創的な作品を待っています。

部門は、①小・中学生の部、②一般（高校生以上）の部。各部門の最優秀作品には、環境大臣賞が贈られます。多くの方の参加をお待ちしています。

○ 締切 平成18年1月31日（火）（当日消印有効）

【応募・問い合わせ先】

（財）日本環境協会内 環境白書表紙絵係
〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9プライム神谷町ビル2F
TEL : 03-5114-1251
詳細については、協会ホームページをご覧ください。

→ <http://www.jeas.or.jp/topics/050928.html>

藤本倫子環境保全活動助成基金

—平成17年度助成先が決定しました—

藤本倫子環境保全活動助成基金は、藤本倫子氏からの寄附金をもとに設けられた助成基金で、環境教育や地域の環境保全活動などを積極的に実践する団体と個人に対し、助成金交付をしています。

平成17年度は、新たに個人（環境カウンセラー）に対する助成を開始し、個人申請3件、団体申請16件、併せて19件の助成金交付を決定しました。

平成18年度の募集については、平成17年12月中旬ごろに、協会ホームページでご案内する予定です。

平成17年度助成団体一覧及び、過去の助成金交付団体の活動報告はこちらをご覧ください。

→ http://www.jeas.or.jp/activ/prom_01_00.html

グリーン購入ネットワーク(GPN)

「印刷・情報用紙」購入ガイドライン改定しました。

GPNは、2005年10月に「印刷・情報用紙」のグリーン購入ガイドラインを改定しました。改定のポイントは、使用するバージンパルプの環境配慮に関する項目を追加したこと。「古紙パルプ」と「環境バージンパルプ」を並列で示し、その2種類の原材料を多く使用していること、即ちその2種類のパルプの合計値が高い紙製品を優先して購入すべきである、という趣旨に改定しました。改定の理由は主に以下の2点です。

- ①紙のリサイクルは3～5回が限界であるため、紙全体のライフサイクルを考えると常にバージンパルプの投入が必要である。
- ②合法的に、適切な形で栽培され伐採された木材であれば、将来に渡って持続的に利用することができる。原料となる木材が森林認証を取得したもの等であれば、合法性・適切性について判断するための目安になる。

また、クラフトパルプは古紙パルプよりも製造工程における化石燃料由来のCO2排出量が少ないことにも着目すべきです。

詳細は、GPNのホームページをご参照ください。

→ <http://www.gpn.jp/>

地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)

NPOブックカタログ2005を発行しました

書店に流通しないことが多いNPOの発行書籍と注文方法を紹介するカタログを作成しました。パートナーシップ、ボランティア、自然環境、ごみとリサイクルなど18分野、158団体、約400冊を掲載。

カタログの入手方法

1. 地球環境パートナーシッププラザにお越しただければ差し上げます。
2. 郵送をご希望の場合は210円切手を貼った返信封筒（A5判が入る大きさ）に、ご住所・お名前をご記入の上、下記までお送りください。
3. ホームページからPDF版をダウンロードできます。

<http://www.geic.or.jp/geic/2005/info/catalog/index.html>



【問い合わせ先】

地球環境パートナーシッププラザ (GEIC) 須藤
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前
5-53-70 国連大学1F
Tel: 03-3407-8107
Fax: 03-3407-8164
e-mail: vol2005@geic.or.jp

全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)

『エコ・スタンプラリー』を開催します



昨年引き続き、今年も首都圏の環境学習館を巡るエコ・スタンプラリーを12月の地球温暖化防止月間を中心に11月18日(金)から翌年1月15日(日)まで主催します。参加する館は、

ストップおんだん館のほか、渋谷駅近くにある東京電力の電力館、板橋区立エコポリスセンター、横浜市鶴見区にある東京ガスの環境エネルギー館及びキリン横浜ビアビレッジの5館です。いずれも入館無料で楽しく環境問題を学べる施設です。

12月10日(土)には、今年のキャラクターのさかなクンがストップおんだん館を訪れ、トークショーで盛り上げてくれる予定です。イベントの詳細内容は次のURLをご参照ください。

<http://www.jccca.org/ondankan/>

2館以上回った子供たちには、「さかなクンのオリジナル図書カード」、「MD・CDラジカセ」、「防水デジタルカメラ」などの素敵なプレゼントが抽選で当たります。

多数の方々の参加をお待ちしています。

ライフスタイルフォーラム2005/2006を開催します!

『私にできること～自分のライフスタイルから世界が変わる～』をテーマに開催します。

昨年度に引き続き全体コーディネーターに辻信一さん(環境=文化NGOナマケモノ倶楽部世話人)をお迎えし、多彩なゲストとともに「私にできること」を考えていきます。プログラムや実行委員会によるブログ、ニュースが掲載されたウェブサイトも今年の特徴です。ぜひ一度ご覧下さい。

当日は、エコロジーマーケットや環境問題に取り組むNGO/NPOや各種団体などによる課題別フォーラムなど企画が目白押しです。どうぞご来場下さい。

「ライフスタイルフォーラム2005/2006」

2006年1月14日(土)15日(日)

東京都産業貿易センター・浜松町館にて開催

<http://www.lifestyle-forum.org>



ライフスタイルフォーラム2004より

今すぐできる地球温暖化対策 その3 『20℃でWARM BIZ!』

冬の暖房時の室温を20℃設定にすることで、CO2排出量を削減し地球温暖化を防止しましょう。設定温度を冬に1℃下げるとは、夏に1℃上げるよりも効果があります。

チーム・マイナス6%のホームページでFashion、Food、Lifeのカテゴリーからの取組なども紹介されていますので、ご参考にしてみてください。

<http://www.team-6.net/warmbiz/style/index.html>



全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)

ストップおんだん館

ストップおんだん館に、秋の新しい展示が加わりました。テーマは、『暮らしを作る道具たち』。私たちが日常的に使っているさまざまな暮らしの道具。あなたは何を選び、どんなふうに使っていますか? この展示では、私たちが日常生活(仕事場&家庭)の中で何を選び、どのように使い、捨てているのかに焦点を当て、現在のライフスタイルを改めて意識し、自分なりの持続可能な暮らしのあり方を探るきっかけを紹介しています。

さらに12月の展示替えでは、各地域や団体で、展示やプログラムを作る際に参考になるような、ストップおんだん館流の展示・プログラム作りを紹介する予定です。また、来年の1、2月には様々なイベントも開催予定です。皆様のご来館をお待ちしています。

<http://www.jccca.org/ondankan/index.html>

仲間同士のCO₂削減の取り組みを自動集計!

参加団体一覧 詳細

O×株式会社 環境部 プロフィール		団体メンバーのウェブサイト参加状況		
団体参加ファミリーの合計ポイント数		2005年9月		
7170point		CO ₂ 排出量集計値 (kgCO ₂)	入力ファミリー数 (ファミリー)	CO ₂ 排出量平均 (kgCO ₂ /ファミリー)
団体参加ファミリー数	2005年9月	272.3	3	90.7
	前年同月からの削減量	7.8	3	2.6
22ファミリー	2005年9月	30.5	2	15.2
	前年同月からの削減量	1	2	0.5
LPガス	2005年9月	19.5	1	19.5
	前年同月からの削減量	0	0	-

本事業に団体登録している方にご活用いただけるシステム「COCOトータル」をエコファミリーウェブサイトリリースしました。すでに団体登録している方はもちろん、登録していない方はぜひ団体登録をして本サービスをご活用ください。詳しくはサイトをご覧ください。 <http://www.eco-family.jp/>

エコポイント自動集計

団体ごとのサイト参加ファミリー数とエコポイントを自動集計して表示します。団体仲間の家庭でのガンバリ度がわかります。

CO₂排出量等自動集計

団体メンバーがサイト内の環境家計簿に入力したデータを基に、団体ごとの月のCO₂排出量、入力ファミリー数、1ファミリーあたりの平均CO₂排出量、前年との比較などを自動集計して表示します。団体としてどのくらいCO₂排出量があるのか、また、どのくらい削減できているのかがわかります。

本事業では登録ファミリーからのエコライフレポートを12月より募集しています。素敵なエコライフを送っているファミリーには環境大臣賞が授与されます。応募についての詳細は追ってサイトでご案内します。

土壌環境保全対策事業

～2005年 土壌汚染対策セミナー開催報告～

『土壌汚染とリスクコミュニケーション —環境コミュニケーション成功の鍵を考える—』

9月16日に環境省と当協会主催による土壌汚染対策セミナーを北海道、室蘭市、(社)日本経済団体連合会、(社)土壌環境センターの後援をいただき、北海道室蘭市の室蘭市市民会館にて開催しました。

セミナーでは、土壌汚染発見後のリスクコミュニケーション成功の鍵として、環境省から土壌汚染対策の状況報告の後、リスクコミュニケーションに関わる4名の講師を迎え、さまざまな視点から講演いただきました。現状や事例を挙げながらの講演は、参加者の方々にわかりやすく、円滑なコミュニケーションの参考になったように思われます。また、午前中には、新日本製鐵(株)のご協力により、高炉及び廃プラ再生施設を希望者により見学しました。



【特別報告】土壌汚染対策の状況について 環境省水環境部長 坪香 伸

【講演①】土地取引の状況とリスクコミュニケーションの課題について
三菱信託銀行不動産コンサルティング部専門部長 森島 義博氏

【講演③】リスクコミュニケーションの事例について
応用地質(株) 東京本社技術センター地盤環境部長 北岡 幸氏

【講演②】リスクコミュニケーションの事例について
環島建設(株) 環境本部本部長 浦 満彦氏

【講演④】土壌汚染事例と行政としてのリスクコミュニケーションのあり方
北海道環境生活部環境室 環境保全課長 斎藤 卓也氏

JEA NEWS メールマガジン創刊!

当協会では、10月より「JEA NEWS メールマガジン」を創刊しました。今後1回/月の発行を目指し協会関連行事等のタイムリーな発信を行ってまいりますので、本誌「JEA NEWS」(今後6・12月発行を予定しています。)共々、よろしくご支援をお願いします。JEA NEWSメールマガジンは、当協会の環境研究会と環境学習クラブ会員に配信しておりますが、そのほかの方も協会のホームページ(<http://www.jeas.or.jp/news/index.html>)からご覧いただけます。

編集・発行/財団法人日本環境協会

URL:<http://www.jeas.or.jp> e-mail:jea@japan.email.ne.jp

麻布台オフィス 〒106-0041東京都港区麻布台1-11-9プライム神谷町ビル2F
(協会)
(エコマーク事務局 認証課)
(エコマーク事務局 基準課、普及課、国際協力課)
(全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA))
(ストップおんだん館)
(こども環境相談室)

青山オフィス 〒150-0001東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F
(グリーン購入ネットワーク事務局(GPN))

地球環境パートナーシップ 〒150-0001東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F
プラザ (GEIC)

TEL.03-5114-1251 FAX.03-5114-1250
TEL.03-5114-1253 FAX.03-5114-1257
TEL.03-5114-1255 FAX.03-5114-1257
TEL.03-5114-1281 FAX.03-5114-1283
TEL.03-5114-1284 FAX.03-5114-1285
TEL.03-5114-1258 FAX.03-5114-1250

TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190
TEL.03-3407-8107 FAX.03-3407-8164



エコマークは
財団法人日本環境協会の
登録商標です。